

ながの「祈りの朝・宵の宴」キャンペーンの実施状況について

1 概要

長野市観光振興計画「新1200万人観光交流推進プラン」の、四季の彩りキャンペーンの集大成に当たる『ながの「祈りの朝・宵の宴」キャンペーン』を、平成27年度後半から実施している。

これまでのキャンペーンの成果を活かしながら、市内の観光の際に本市で宿泊していただくため、「朝」と「夜」、「食」や「まち」を堪能するための各種仕掛けを展開している。

事業展開に当たっては、市内各地域の観光協会をはじめとする関係団体や地元との連携を強化し、地域全体で観光客を“おもてなし”する体制の構築を図り、「住んでよし」、「訪れてよし」のまちを目指す。



「祈りの朝・宵の宴」
キャンペーンパンフレット(表紙)

2 今年度の実施状況

(1) 祈りの朝 ～宿坊から始まるながの旅～

- 善光寺の宿坊とお朝事・お数珠頂戴の紹介
- 戸隠の宿坊と朝のお勤め・参拝の紹介

(2) 宵の宴

- 主に日本料理店を紹介

(3) まち歩き・ウォーキング（開催予定含む）

- ながの市探検隊 善光寺もんぜん探検隊・・・6回開催

コース例 善光寺十夜会（じゅうやえ）参拝（夜）、善光寺西界限でおいしいもの探し（昼）、リノベ酒場巡り（夜）、えきまえ酒場探訪（夜）

- ながの市探検隊 信州まつしろ城下町歴史さんぽ・・・7回開催

コース例 武家屋敷見学、まち歩き・・・寺町商家（旧金箱家住宅）又は地元料理屋での昼食付き

- 長野市善光寺表参道ガイド協会主催 ガイドと巡るまち歩き
4コース 24回開催

- 戸隠・飯綱エリア 戸隠観光協会・飯綱観光協会
秋：紅葉ウォーク 冬：スノーハイキング

真田大博覧会の概要について

1 実施概要

- (1) 期間 平成28年1月17日から平成28年12月22日まで
- (2) 真田宝物館での企画展

『NHK 大河ドラマ「真田丸」関連特別企画展 戦国の絆』開催、真田家 14 代当主真田幸俊氏の名誉館長就任、音響による臨場感の演出、古文書の収集・展示、甲冑体験、回遊性を促すパネルの設置、街中情報の発信 等

- (3) 真田邸での企画展と生活体験

大河ドラマに関連付けた企画展の開催、「真田丸」と関連付けたパネルの設置、生活感を演出するレプリカの展示、生活文化の体験（茶道、着物着付け、琴、香道） 等

- (4) 文武学校での武芸体験

弓道、古武道 等

- (5) 松代城でのイベント

松代春まつり（4月）、松代藩真田十万石まつり（10月）、食の合戦inながの（11月）等の既存のイベントを活かし、集客力のある企画等を組み合わせることにより、真田大博覧会の誘客の起爆剤とする。

- (6) まち歩き事業

まち歩きガイドの実施、冊子の作成、ギャラリートーク・展覧会の開催 等

- (7) 装飾・案内看板事業

案内看板の設置、一体感のあるのれんの飾り付け、のぼり旗の設置、長野駅懸垂幕の設置 等

- (8) 上田市との連携事業

往復シャトルバス「絆ライナー」の運行、スタンプラリーの実施、上田市の大河ドラマ館と真田大博覧会の共通券の作成 等



大博覧会チラシ



のれん・のぼり旗



上田との連携チラシ

2 松代観光親善大使「小松姫」

(1) 概要

大河ドラマ「真田丸」の放送を契機に、松代町の知名度向上と積極的な誘客を図るため、強く賢い女性であったといわれている真田信之公の正室小松姫にあやかり、松代観光推進機構が松代観光親善大使「小松姫」を募集し、2名を選任した。各種イベントへの出席や観光キャンペーン等への同行等、松代を盛り上げ、魅力を広く発信するよう努めている。

(2) 活動実績（主要なもの）

- ・「食の合戦inながの」においてお披露目
- ・旅行業者等トップセールスへの同行
- ・真田大博覧会の内覧会及びオープニングセレモニーにおける会場案内、体験メニューの実演 等



松代観光親善大使「小松姫」

食の合戦 in ながのにおけるお披露目

平成 27 年 11 月 23 日



真田大博覧会 文武学校での弓道体験の実演

平成 28 年 1 月 15 日

<参考：小松姫について>

松代藩初代藩主真田信之公の正室「小松殿」のこと。徳川家康の家臣本田忠勝の長女で、信之との婚礼にあたり家康の養女となった。才色兼備で、信之を内助の功で助けた良妻賢母と伝わっている。

3 長野駅前門前回廊への提灯の掲出

(1) 概要

歴史・伝統と自然を活かした長野らしい「おもてなしの心」を駅前広場で表現し、来訪するお客さまをお迎えするため、長野駅「門前回廊」に提灯を掲出する。

平成28年度の提灯には「真田丸」「信州松代」の文字及び六文銭を入れ、松代への誘客を促すデザインとした。

新しいデザインの提灯の掲出に合わせ、賛同いただける寄付者（スポンサー）を募集し、協賛していただいたスポンサー名を提灯に記載する。

(2) 提灯の場所

長野駅善光寺口駅前広場 門前回廊列柱

(3) 設置期間

平成28年4月1日～10月末日

(4) 寄付者の募集について

ア 寄付金額 1口 150,000円（1社2口まで）

イ 募集口数 最大18口（提灯9張×2箇所）

ウ 募集期間 平成27年12月24日（木）～平成28年1月22日（金）

(4) その他

本事業は、信州の魅力発信プロジェクト「信州100ストーリーズ」の一環として実施



信州100stories とは、北陸新幹線金沢開業を契機に“信州ハブステーション”として新しく生まれ変わった長野駅において、長野県・長野市・東日本旅客鉄道株式会社・株式会社ステーションビル MIDORI・株式会社ホテルメトロポリタン長野が取り組む駅全体を舞台とした信州の魅力発信事業。テーマは「長野駅で100通りの信州を知る」。

次期長野市観光振興計画に係る策定作業経過について

1 計画の位置付け（前回分科会資料再掲）

現行の「長野市観光振興計画」は「第四次長野市総合計画」及び「長野市産業振興ビジョン」を上位計画と位置付け、策定期間についても両計画に合わせ、平成24年度から28年度までの5ヶ年計画として策定されている。

次期観光振興計画においても、計画期間を上位計画と同一の5年間（平成29年度～33年度）にすることで、両計画における観光部門の具体的な方向性を示すアクションプランの位置付けとする。

2 策定作業経過

(1) 事業者選定

現況調査業務及び総合的支援業務を、委託する事業者を選定

- ・公募型プロポーザル公示 平成27年6月24日（水）
- ・6社応募があり、選定委員会により業者選定を実施、「特定非営利法人SCOP」と契約締結 平成27年8月13日（木）

※今年度は、骨子までの作成とし、来年度に総合計画との整合性を図った上で、次期長野市観光振興計画を策定するため、同事業者と来年度、策定支援業務に係る業務委託契約を締結予定

(2) スケジュール 別紙「長野市観光振興計画策定業務 スケジュール」参照

ア 観光振興専門分科会

- ・計画策定業務着手後、1回目となる第2回当専門分科会を本日開催し、策定経過を報告
- ・第3回専門分科会は3月中旬に開催を予定し、計画骨子案を審議

イ 庁内ワーキンググループ

本市観光の現状・課題及び、今後、観光分野で生じる社会変化を念頭に置きつつ、関係各課との連携を図りながら、観光振興につながる事業の検討を行う。

（構成：企画課、人口減少対策課、交通政策課、地域活動支援課、産業政策課、農業政策課、文化芸術課、スポーツ課、公園緑地課、まちづくり推進課、文化財課、松代支所、戸隠支所、鬼無里支所、信州新町支所 計15課）

< 庁内ワーキンググループのスケジュール >

| | 報告事項、検討内容 | 開催時期 |
|-----|--|-----------------|
| 第1回 | ・当市の観光を取り巻く現況・課題の提示 ・各課で連携しながらできること | 1月25日（月） 開催済 |
| 第2回 | 第1回の議論を踏まえ、具体的な施策の検討を行う | 2月22日（月） |

※平成28年度2回開催予定

ウ 市民ワーキンググループ

- ・観光に関する庁外の意見等を広く聴取し計画に反映するために設置
メンバー14名の内、2名が一般公募、12名は、観光協会、観光事業者等の各
団体から若手で現場で活躍している方を中心に推薦いただき構成

<市民ワーキンググループのスケジュール>

| | 検討内容 | 開催時期 |
|-----|----------------------------------|--------------|
| 第1回 | ・SWOT分析（本市の強み、弱み、機会、脅威） | 12月17日（木）開催済 |
| 第2回 | ・本市の強みを伸ばし、弱みを克服するには | 2月9日（火） |
| 第3回 | ・機会の活用・脅威の克服のために、本市の強 みをどう活かす | 2月24日（水） |

※平成28年度2回開催予定

エ 各種調査

- 本市観光の現状と課題を把握するため、各種調査を実施
「ギャップ調査、来訪者調査（日本語）、外国人旅行者調査、GPS調査、イン
バウンド調査、観光事業者調査、現行計画の評価」について、GPS調査以外に
ついては、実施済み。（GPS調査は1月中に完了予定）

オ 現行計画の評価

- ながの観光コンベンションビューロー、各観光協会からの実施報告と、必要に
応じてヒアリングを実施し、成果、課題等を把握

※各種調査内容、主な結果については、別添資料「長野市の現状と課題把握～各
種調査等の結果報告～（概要版）」にて説明

3 策定ポイント（前回分科会資料再掲）

- (1) 現行計画での評価（課題、改善点等）を踏まえた上で、現状把握調査の分析結
果を重視した観光客視点での施策内容
- (2) 現行計画でのテーマ別キャンペーンに代わるものとして、長野市モデルと言え
る斬新かつ実現可能な計画
- (3) 地域経済活性化に結び付くような具体的施策を掲げたアクションプラン
- (4) 滞在型観光の推進とリピーターの確保
- (5) 現在の数値目標である観光入込客数に加え、経済波及効果につながる数値目標
を設定するなど、数値目標の充実（「量」から「質」への転換）
- (6) 新たな観光資源の発掘と既存資源の磨き上げ（観光施設のあり方含）
- (7) 台湾、タイを中心としたアセアン諸国と併せ、冬期間スキーに訪れているオー
ストラリア人などを対象としたインバウンドの推進

